

EPAハノイ便り

2月号

平成30年2月3日

ARCベトナム校発行

＊～＊ 新聞部紹介 ＊～＊

これからこのハノイ便りの記事を書く、新聞部のメンバーが決まりました。14組の15人です。



よろしくおねがいます！

以下、新聞部による、交流会の報告です。

＊～＊ 交流会 ＊～＊

一か月の大変な勉強の後、6陣候補者と先生の交流会がありました。EPAに入って初めての交流会です。



候補者全体リーダーのビンさんです。

最初はビンさんの開会のあいさつです。ビンさんは「私たち候補者はいろいろな地域から来ましたが、みんなもう1か月くらい一緒に勉強したり、生活したりしていますね。あまり長い間じゃありませんが、お互いに理解もできるし、団結することもできました。これからまだ大変なことがあると思いますが、熱心に勉強して、熱心に助け合って、EPAという家族を作りましょう」と言いました。ビンさんのあいさつはみんなを元気にして、団結させたので、交流会が成功しました。

最初の演目は「きれいなベトナムへようこそ」です。6組は踊りながら歌を歌いました。若者の熱が忘れられない思い出になりました。つぎに14組は「ラー

メン体操」という日本の歌で面白く踊りました。そのとき、みんなは本当にラーメンを食べたい気持ちでした。そして、14組はみんなにラーメンを食べるのは簡単じゃないと伝えました。

ベトナムはもうすぐテト(旧正月)になります。2組が大晦日の歌を歌ったとき、みんなは幸せな気持ちになって、一緒に歌いました。会場はにぎやかになりました。

ほかに、候補者だけじゃなくて、先生も一緒に踊った組もありました。とても楽しかったです。

そして、それぞれの組の演目の後で、担当の先生がコメントをくれました。候補者はコメントを聞いて、もつとがんばろうと思いました。



先生が踊っているのを見て、ほんとうに感動して、自分でももっといっしょうけんめい日本語を勉強しようと思いました。



みんなで応援しました。とても楽しかったです。

最後に、局長の大神先生のお話がありました。大神先生は「たくさん試験もあって、勉強も大変ですが、短い時間の中で準備して、ほとんどできました。本当にすごくよかったですと思います。またここで一年間、心配なこともあります。でもいつも笑顔で、自分の目標と夢を忘れないでください。自信を持って、できるだけがんばってください」と言いました。

わたしたちは自分たちの目標が達成できるように、E P A の家族を作って団結して、がんばります。

★先生へのインタビュー★

候補者と一緒に踊った藤澤先生に聞きました。

「私(藤澤先生)はダンスが苦手です。得意じゃありません。でも、一緒にチャレンジすることが大切だと思って、候補者と一緒にダンスをしました。

ダンスが苦手ですから、踊りを覚えるのは大変でした。スポーツもあまり得意じゃありませんから、体を動かすことが大変でした。しかし、とても楽しかったです。

6陣候補者のみなさん、苦手なことでもいっしょけんめいやれば、みんな楽しくなります。自分も楽しくなります。ですから、日本語の勉強が難しかったり、大変だったりすると思いますが、いっしょけんめやるといふことを大事にしてください。」



藤澤先生は13組の担任です。

13組と一緒にちびまるこちゃんの歌で踊りました。

★候補者へのインタビュー★

「ベトナムのハート」というダンスを踊った11組のリーダーのフォンさんに聞きました。

「『ベトナムのハート』というダンスはおもしろいし、踊りやすいし、全員参加できますから、選びました。授業が終わった後で、教室で30分くらい練習しました。ときどきけんかしたこともありましたが、相手の気持ちをもっと理解できて、とても楽しかったです。発表するとき、ときどきしましたが、みんなの熱心な応援のおかげで、本番はよかったです。交流会はにぎやかでよかったです。こんな交流会をたくさんしたいです。」



左が11組リーダーのフォンさん、
右が新聞部のグエンさんです。

新しい環境で新しい仲間と勉強を始めて1か月半ほどの候補者たちですが、少しずつ研修生活に慣れてきています。これから10か月、E P Aという家族として支え合っていければと思います。